

令和7年度第2回学校支援防犯ボランティア連絡会議議事概要

開催日時 令和7年11月17日

開催場所 岩槻小学校南校舎4階大会議室

出席者 民生児童委員、PTA役員・地区委員、自治会長、学校職員を含め37名
議 事

1 開会のことば

2 あいさつ

(1) 学校長あいさつ

”開かれた学校“への活動を進めています。創設153年の伝統を引き継ぎ更なる発展を目指しています。学校行事などは岩槻小ホームページに公開しています。また、9月から岩小Cafeを開き、皆さんとざっくばらんな会話の場を設け、今月末第三回を開催します。

本日、多くの児童が体調不良で欠席し、やむなく複数クラスの学級閉鎖が見込まれます。残念ながら、明日予定した2年生の遠足は延期となりました。5年生が参加予定であった「さいたま市小中合同音楽会」も参加児童の体調管理、感染予防を図りつつ状況を注視しています。このような環境下であっても、皆様のご支援・ご協力を得て安全・安心を高めてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

(2) PTA会長あいさつ

ボランティアの皆様のご協力に感謝申し上げます。今月初めに開催した、スマイル・フェスティバルには多くの皆様の参加、支援を受けて、成功裏に終わることができました。気がかりであったのは、運動会でも見かけられた不審者の来校があり、PTAメンバーが一致して見守りを行いましたが、どのように対応するべきか悩みました。本日の会議において、経験に基づくご提案、支援、アドバイスをいただければと考えています。引き続き、ご協力ご支援よろしくお願いいたします。

(3) 議長あいさつ

岩槻小では感染症蔓延の状況下で、先生方、皆様のご不安はいかばかりかと存じます。皆様の体調管理に十注意してください。前回の会議にて、要望のあった“ヒヤリハットマップ”最新版は小学校において迅速に対応をいただきました。本日の会議も、活発な熟議を進めていただけますようよろしくお願いいたします。

(4) 防犯ボランティアリーダーの紹介、ごあいさつ

多くのボランティアの方々の参加を拝見し、皆様の熱意を感じます。防犯における大切なことは“自分の身は自分で守る”ことの実践です。意欲的な活動と同時に忌憚のない意見をよろしくお願いいたします。

3 審議内容

(1) 情報交換・情報共有

自治会・P T A役員・通学班分団長、副分団長が地区ごとに分かれ、登下校、交通に関する分団活動、自治会活動について、情報交換を行った。

P T A分団・地区での情報交換、審議メモについて

ご意見	対応
<ul style="list-style-type: none">・毎週水曜 15:00～約 1 時間防犯パトロールを行っている。・通学路のひなん所が増えました。見守りをしてくださる方が多くいることで安心感が高まります。・信号のない道路横断など、子らに注意喚起しています。	<ul style="list-style-type: none">・継続的なボランティア活動をいただきありがとうございます。・今後とも、ご協力をいただける支援者を増やしたいと考えています。・一斉下校、学級活動においても継続的に指導していますが、現場での指導も必要です。よろしくお願いします。
<ul style="list-style-type: none">・自治会と親子世代の交流が少ない自治会運動会への参加を。 自治会内ではサロンなどを通じて交流があるが、残念ながら分団、子等の姿を見かけない。 分団活動の財源がないため制限がある。・警察に、4 区ガード下に 1 日 2 から 3 回の見守りを依頼している。以前、たまり場であったが、その後改善された。	<ul style="list-style-type: none">・ご意見は、この会議の直接の課題ではありませんが、夫々のボランティア団体のネットワークおよび協働をどのように進めるか、皆様と検討の場を確保できるとよいと考えています。・情報提供ありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none">・一人で帰る子が心配、指導してほしい。・年寄りの自転車に注意する、夕方など自転車が見えにくい環境がある。・不審者がいた場合の詳細を共有(特徴が分かりにくい) 不審者がいた時の、子どもたちの対応を指導が必要。	<ul style="list-style-type: none">・1 年生のリボンの色分け(分団・班) 集団下校指導、その他各学年での下校指導が継続的に行っているところです。今後も引き続き行っていきます。残念ながら、広がり歩行などの状況について、お声をいただいた際には、指導の再確認、付き添いによる観察指導を行っています。・本日のボランティアリーダーのお話にありました“自分の身は自分で守る”。 “大人が常に付き添う”ことは難しい状況です。学校・家庭での指導、再確認をおこなうこと、並びに地域の皆さんの協力を得て“こども 110 番の家”、“ながら見守り”な

<p><u>・ヒヤリハットマップを新入生他全員に共有してほしい。</u></p> <p>・急な下校時間の変更が分からないので、下校見守り時に困る（メール登録を全員がするのはちょっと難しい）。</p>	<p>ど地域の目をふやし、すきを作らない登下校路の整備に努めたいと存じます。</p> <p>・最新版マップは、前回会議後、全学年に配付されています。</p> <p>・可能な限りメールの登録をお願いします。現状では、ご協力をいただいているボランティアの皆様との最良の情報共有の手段と考えています。学校から個々の皆様に都度、電話等のご連絡は難しい状況があります。地域の自治会長様を中心としたネットワークにメールシステムを接合できるとよいと考えています。</p>
<p><u>・子どもの二列歩き、見守りの方がいないと危ない。</u></p> <p><u>・ベルク横の坂を、スピードを出し走行。</u></p> <p><u>・下校時に横に広がる。</u></p> <p>・横断歩道の確保。</p>	<p>・1年生では、分団、学童、下校コースごとのリボンをつけ、集団下校しています。この際、道に広がることなく、一列歩行を指導しています。</p> <p>・2年生以上にあっては、できるだけ地域ごとに纏まって下校するよう指導しています</p> <p>・道に広がって下校する姿が確認され、自転車との接触など懸念をいただき、都度原点に戻り、“自分で自分を守る”、“公共の道の歩き方”など徹底指導していきます。</p> <p>・このような状況をお見かけの際は、お手数ですが、口頭で注意・指導をお願いいたします。</p> <p>・小学校単独でできることではありませんが、どのような対策が有効であるのか、継続検討としました。</p>
<p><u>・大同ひがし野公園工事終了。</u></p> <p><u>・本丸第3自治の協力で、あらたな防犯カメラの5台設置。</u></p> <p><u>・ヤオコーがオープンしたので通学路に車が増えた。</u></p>	<p>・情報提供ありがとうございます</p> <p>・ピンクのリボン班が該当すると存じます。学級担任を通じて、当該地域を通学路とする子らへ、注意喚起をします。</p>
<p>・登校班集合時間について。</p>	<p>・学校だより、学級指導などを通じて、学校への入校は、8時以降にするよう指導しています。</p> <p>何時がよいかどうか、地域でご決定いただいていることと存じます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・一斉下校、地元に着く頃にはバラバラになり、一年生が最後になってしまう。 ・一年生担任は、どこまでついて来てくれるのか。学期ごとに場所が違うのか。 ・高学年を最後に出発させてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉下校は、分団・班をくくりとして通学班体制で下校します。 ・通学班は、遠方の子が最後となり、必ずしも上級生が最後まで面倒を見られるわけではない状況もあります。少なくとも、集団下校時の隊列のあり方など、一斉下校時に改めて、確認・実践するよう指導事項に追加したいと存じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・登下校、特に下校時おしゃべりに夢中になり道に広がり、交通事故の心配が見受けられ、心配であるので注意してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時は学年ごと、個別の下校となります。校門等での立哨指導では、ご懸念のような状況が見受けられる都度、右側通行、道路に広がらないよう指導しています。各学級において指導、再確認を要請します。
<ul style="list-style-type: none"> ・下校時は、時間の幅があり、心配。 ・冬季は、日没も早く、暗がりとなるので指導を徹底してほしい。 ・危険な場所は、道路に表示してほしい。電柱等に反射板をつけてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季は校庭での遊びも、4時半までを限度とする指導を行っています。友達等との交流も時間ではなく環境条件が異なることを都度指導お願いします。 ・道路・電柱等への表示、掲載は学校の一存ではできません。よって、自治会、地域の交通安全協会、警察署などとの協議事項と考えます。実施の可否を含め継続課題とします。
<ul style="list-style-type: none"> ・久伊豆神社のカーブミラーの設置高さ、神社前の交通量など。 ・朝夕の交通規制ができないか。 ・ボランティアの高齢化、やめる人が増えている、継続して募集をかける。 ・宮町で、9月に2回の不審者情報があつた。 ・赤間堀緑地の雑草の背丈が伸び、子らの通行が見えない。 ・こども110番の家が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険地域として、注意喚起を徹底します。 ・よろしくお願いします。 ・学校に情報があつた時は、学校安心メールによって、情報の登録、共有によって、見守りの目を増やしてゆきたいと考えています。 ・情報提供ありがとうございます。 ・自治会長、連合会の皆様の御協力を得て、登録の少ない地域から順次、商店・事務所・工場などへの協力要請を図りたいと存じます。

(2) 論議の報告

各分団のご意見のうち、二重下線を付した事項の報告があった。

報告を受けて、防犯ボランティアリーダーから、次のようなコメントがあった

- ・マップは、それぞれの学校。地域で個別に作成していたものを、全市で統一し各区において作成管理を行っている。
- ・現状の危険地域など、実際に担当者に見てもらい、状況の把握などを要請している。

4 防犯ボランティアリーダーの講話

各分団での熟議、報告に引き続き、防犯ボランティアリーダーから資料「子どもに対する声かけ事案情報」を参照した講話があった。そのうえで

- ・被害者とならないために“自分の身は自分でまもる”、皆さんの協力が結果として子らの安全を守っている
- ・世の中が変化している。法律が改正され「被疑者が守られる」時代。従って、子らを守るのは自分たちであり、一人ではできない。皆さんがまとまって行う活動が大切である。
- ・岩槻小の404名は、ここが故郷である。一人としてかけてはならない。なんらかの事故が起きると子等の一生のトラウマとなってしまう。
- ・皆さんが子らを導く以外にほかの方法はない。従って、常に皆さんの目で視る。万一不審なものがあれば、警察を使って情報共有してほしい。
- ・資料からもわかるように、声かけ事案は増えている。数字から現状を認知してほしい。
- ・こども110番の家は、地域の商店などを含めて、自分たちで環境を作っていく。“自分の身は自分で守る”ことになる。これは、登録した家にとってもその行動が自らを守るものとなる。
- ・被害者を守る保険はなにもない状況である。子どもたちから被害者を出さない取り組みをすすめてほしい。

5 諸連絡

- (1) 防犯ボランティア活動、今後の予定(令和7年12月～令和8年3月)は、資料の通り。
- (2) さいたま市岩槻小学校専用メールアドレス登録を要請した。
- (3) 第3回学校支援防犯ボランティア連絡会議は、令和8年2月25日(水) 10時～11時開催予定を伝えた。
- (4) 学校支援防犯ボランティア連絡会議構成員の所属、担当が変更となった場合、学校からの諸連絡の確実化を図るため、事務局へ変更事項の連絡を要請した。

以上